

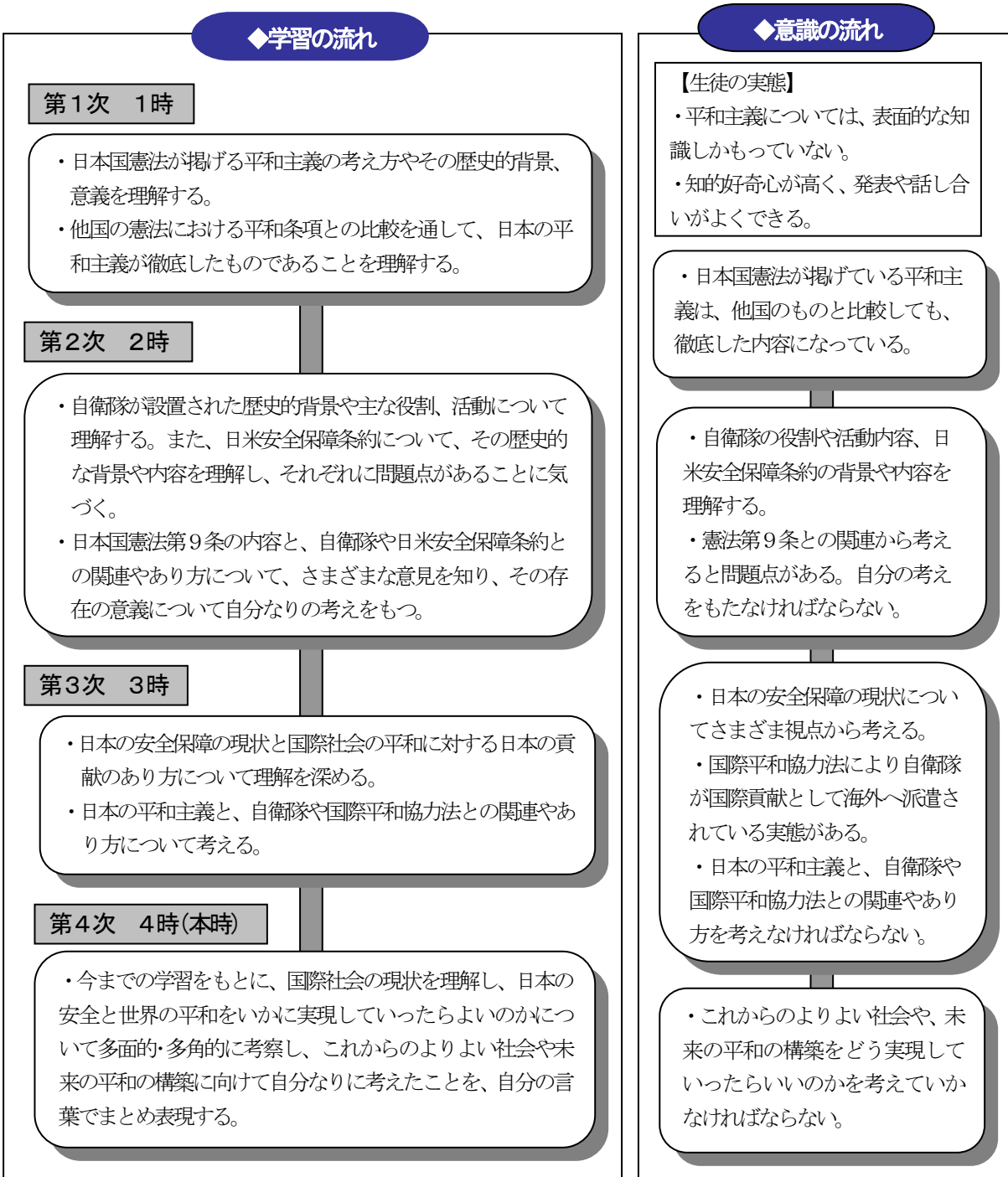
# 第3学年 社会科 学習指導案

平成28年10月24日(月) 第5校時  
高知市立愛宕中学校3年1組 生徒数35名  
指導者 伊藤 美和

## 1 単元構想図

単元名 第2章 人間を尊重する日本国憲法 第3節 私たちの平和主義 (全4時間)
---

**【単元でつきたい力】**  
・日本の平和主義の歴史的背景や意義、自衛隊や日米安全保障条約について理解することを通して、これからの国際貢献のあり方や、世界平和の構築について多面的・多角的に考え、自分なりの意見を自分の言葉でまとめ、表現することができる。また日本と世界の平和に向け、国民の一人として主体的な関わりを考えることができる。



## 2 単元について

### (1) 単元観

この単元では、「平和主義」について取り扱う。学習指導要領では、(3)「私たちと政治」の「人間の尊重と日本国憲法の基本原則」にあたる。日本国憲法は、すべての法の中の最高法規として位置づけられており、憲法と国民の間での社会契約のもと自由と権利が守られ、民主的な政治が行われている。本単元を扱う土台として憲法学習は人権学習であり、常に「人間を尊重する」ということを意識し、世界に誇れる三大原則を柱として日本国憲法が成り立っていることを押さえることが重要であると考えます。

平和主義の内容の取り扱いについては「日本国民は、第二次世界大戦その他過去の戦争に対する反省と第二次世界大戦の末期に受けた原爆の被害などのいたましい経験から、政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないように望み、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、国の安全と生存を保持しようと願い、国際紛争の解決の手段としての戦争を放棄し、陸海空軍その他の戦力を保持しないことを決意したことについて理解させることを意味している。」とある。

「平和主義」を深く捉え、主体的にかかわろうとする態度を身につけさせるためには、表面的な理解だけでは難しい。現在、国際社会の中で、日本の「平和主義」のあり方が大きく問われている。日本国憲法がつくられた歴史的背景や、その前文や第9条に込められた願いを理解させるとともに、日米安全保障条約や自衛隊の成り立ちや問題点を学習することを通して、「平和主義」のかかえている問題点や、日本の安全保障の現状、国際社会の平和に対する日本の貢献のあり方について考えさせたい。さらに、国際社会の現状を理解したうえで、日本の安全と世界の平和をいかに実現していったらよいかについて、多面的・多角的に考察し、これからのよりよい社会や未来の平和の構築に向けて自分なりに考え、判断する力を育てたい。

義務教育を終える中学3年生という時期に、日本の「平和主義」について学ぶことを通して、将来の国民の一人として、日本と世界の平和に向け主体的な関わりを考えることは重要であると考えます。

### (2) 生徒観

本学級の生徒は、社会科好きな生徒が多い。男子は活発で、発言も元気よく、比較的自分の考えを積極的に言うことができる。それに対して女子は、ややおとなしいが、じっくり考えてしっかりとした発言ができる生徒が何人かおり、授業を落ち着いた雰囲気にくらせている。

学校全体の取り組みとして、ペア学習や班活動などを意識的に仕組んできたこともあり、班での話し合いや教え合いについては、積極的にすることができている。しかし、話し合いの中で、自分の意見や考えを積極的に述べたり、さらに友達の見聞を聞いて、自分の考えを深めたりすることが、まだまだ十分にできていない。また、既習事項の一問一答は得意とするが、さまざまな事象を関連づけて考えることを苦手とする生徒も多く、この学習を通して資料を適切に読み取り、関連させて自分の考えを述べたり、関わり合いを通して自分の意見を深める力を伸ばしていきたい。

### (3) 指導観

指導するにあたり次の3点を意識して指導を行いたい。①日本国憲法が掲げる「平和主義」の考え方やその歴史的背景、意義を理解させる。②「平和主義」に関わる問題点を、さまざまな視点から考える。③「平和主義」の重要性と国際社会の現状から、日本と世界の平和について考えさせる。以上のことについて資料を分析し、生徒の思考力や表現力を広げ、深めるために関わり合いを取り入れ、多様な価値に気づかせたいと考える。

## 3 単元の目標

- ・日本の「平和主義」の歴史的背景と意義を理解し、日本の防衛と安全の問題について考える。
- ・日本の安全保障の現状や課題、国際社会における役割を捉え、これからの国際貢献のあり方や、世界平和の構築について多面的・多角的に考え、自分なりの意見を自分の言葉でまとめ、表現することができる。
- ・日本と世界の平和に向け、国民の一人として主体的な関わりを考える態度を養う。

#### 4 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象について の知識・理解
世界平和の実現と、人類の福祉の増大に関わる国際社会の諸問題に対する関心を高め、意欲的に追求し平和の尊さを自覚しようとする。また、世界平和の実現に向けて、課題を自ら探し出し、意欲的に取り組もうとしている。	日本の安全と世界の平和をいかにして実現すべきかについて、多面的・多角的に考察し、これからのよりよい社会のあり方について自分なりに考察を深め、自分の言葉で表現できる。	世界平和に関わる問題に関する適切な資料を収集し、学習に役立つ情報を選択して活用できる。また、国際平和に関わる課題を追求し、考察した過程や結果を分かりやすくまとめることができる。	日本国憲法が掲げる平和主義の考え方やその歴史的背景、意義を理解し、世界平和の構築に向けて考えを深めていくことの大切さを理解している。

#### 5 指導と評価の計画 (全4時間)

次	学習内容 (時数)	評 価					評価方法
		関	思	技	知	評価規準	
1	憲法に定められた平和主義 (1時間)	○			◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本国憲法に定められた平和主義の歴史的背景や意義について、関心をもって調べようとしている。</li> <li>「各国の憲法における平和条項」との比較を通して、日本の平和主義が徹底したものであることを理解している。</li> </ul>	観察 (発表・態度・関わり合い) ノート
2	平和主義の考え方や自衛隊・安全保障条約 (1時間)		◎		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>自衛隊や日米安全保障条約について、その歴史的背景や内容、役割などについて正しく理解できている</li> <li>日本の平和主義と自衛隊や日米安全保障条約との関連について、資料をもとにさまざまな視点から考察し、自分の考えをまとめることができている。</li> </ul>	観察 (発表・態度・関わり合い) ノート
3	日本の安全保障と国際貢献 (1時間)	○	◎			<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の安全保障の現状や、日本の平和主義と世界平和における日本の国際貢献との関係について考えようとしている。</li> <li>平和主義と自衛隊や国際平和協手法との関連やあり方について、資料を基にさまざまな視点から考察し、自分の言葉で表現しようとしている。</li> </ul>	観察 (発表・態度・関わり合い) ノート ワークシート
4	世界平和の構築へ向けて (1時間) 本時	○	◎			<ul style="list-style-type: none"> <li>今までの学習をふり返り、未来に向けた平和の構築に対して、意欲的に考えようとしている。</li> <li>今までの学習をもとに、国際社会の現状を理解し、日本の安全と世界の平和をいかに実現していったらよいかについて、多面的・多角的に考察し、これからのよりよい社会や未来の平和の構築に向けて自分なりに考えたことを、自分の言葉でまとめ、表現している。</li> </ul>	観察 (発表・態度・関わり合い) ノート ワークシート